

水戸労働基準監督署長が建設工事現場の安全パトロールを実施！

～ 年末年始の労働災害防止のため
安全作業手順の遵守や安全確認の徹底を呼び掛ける ～

令和3年12月10日



工事現場全景



鉄筋を曲げる機械(ベンダー)操作の説明を受ける小室署長(右側)



誘導員と表示された安全ベストを着用したクレーン合図者から作業の説明を受ける小室署長(右側)

年末年始を迎えるこの時期、慌ただしい中での作業となり、一層の労働災害防止の取組が求められることから、水戸労働基準監督署(署長小室順)は、12月10日、監督署長が水戸市内の建設工事現場の安全パトロールを実施し、労働災害防止対策の徹底を呼び掛けました。

パトロールを実施した工事現場は、JR常磐線上をまたいで建設される道路に接続する斜路階段の鉄筋コンクリート杭による基礎工事で、水戸市の株式会社秋山工務店が施工する現場です。

当日、ベンダーによる鉄筋の曲げ加工が行われ、加工部に巻き込まれ防止の覆い、非常停止装置である安全対策が施されたベンダーが使用されていました。また、移動式クレーンによる機械や資材の移動では、合図者を配置し、安全なクレーン作業の確保に努めていることを確認しました。

今後行われる重機作業での接触防止対策等を含め、引き続き、安全作業の遵守や安全確認の徹底を要請しました。

水戸労働基準監督署管内で今年(令和3年)発生した労働災害の死傷者数(休業4日以上)は11月末現在708人で、前年より106人の大幅な増加となり、うち建設業は88人で29人(49%)の大幅な増加となっています。

労働災害の増加により水戸労働基準監督署では、中災防の年末年始無災害運動の展開に連動した取組として12月15日から1月15日までの期間、水戸地区年末年始無災害運動として、安全点検、安全パトロール等により危険な箇所、作業がないか確認する集中的な取組の実施を呼び掛けています。

【連絡先】 水戸労働基準監督署

電話：029-226-2237